# 東御市議会だより

TOMI

Vol.13 2007 5/1

新しくなった体育館で初めての入学式（田中小学校）

夢があふれるステンドグラス（中央保育園）

友達いっぱいできるかな（中央保育園）

## 第１回定例会

19年度予算可決……2～3P
総括質疑……4P
予算特別委員会報告……5P
常任委員会報告……6～7P
会派代表質問・一般質問……8～15P
全員協議会だより……16P
今議会で可決した条例……17P
請願・陳情・人事案件……18P
議会のうごき……19P
私の一言……20P

［議会広報紙］この広報は議員の自主編集で発行しています

R100 再生紙を使用しています

# 平成19年　第1回定例会

梅野絵画記念館からの風景

## 本年度予算　可決！

平成19年第1回定例会は、2月27日から3月23日までの25日間の会期で開かれた。

初日は、土屋市長の19年度施政方針演説や、平成18年度各会計補正予算・平成19年度各会計予算・条例議案等の上程が行われた。

平成19年度一般会計・特例会計・企業会計の予算案については、本議会と常任委員会で説明を受け、4日間にわたり詳細に審査が行われた。さらに一般会計については、各常任委員会の予備審査結果を持ち寄り、3月19・20日に、13名による予算特別委員会で慎重に審議された後、本会議において委員長報告がなされた。採決の結果、すべての会計について原案通り可決した。

平成18年度の補正予算についても、全会一致で可決した。また、地方自治法の一部改正により、現行の助役の名称が「副市長」に改められ、その定数を条例で定めることが義務付けられたための新設条例等2件、一部改正条例13件、廃止条例1件についても審議し、それぞれ原案通り可決された。その他に請願・陳情・人事案等も審議した。

### 市長施政方針要旨

公約に掲げた「子育て・老後・暮らし・環境・財政の五つの安心」をまちづくりの基本に据え、市政運営に取り組んで、早3年が過ぎようとしています。合併協議の未調整項目も調整を終え、また、新たなまちづくりのビジョン「第一次東御市総合計画」も市発足の翌年3月には、いち早く策定することができ、東御市の礎が確実な手応えをもって一段一段積み上がって参りました。

しかし、周知のとおり、地方自治体を取り巻く状況は、日々厳しさを増し、少子高齢化、三位一体改革、格差社会の進行、相次ぐ自治体の不祥事など、地方自治体のあり方自体が問われ、喫緊の課題として進めなければならない地方分権改革にも逆風が吹き、地方自治の再生が叫ばれています。

残された任期を、地方自治の原点に立ち返り、真摯に地方分権改革や行財政改革に取り組み、市民の安心・安全ネットをしっかりと創り、市民が豊かさを実感し元気を全国に発信することができる、「誰もが住みたくなる東御市」の実現に全身全霊を捧げる決意であります。

### 平成19年度 会計別予算　（単位 千円）

| 会計別 | | | 予算額 |
|---|---|---|---|
| 一般会計 | | | 12,657,000 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | | 2,883,000 |
| | 老人保健 | | 2,562,800 |
| | 介護保健 | | 2,058,700 |
| | 地域改善地区住宅改修資金等貸付事業 | | 11,342 |
| | 公共下水道事業 | | 1,279,700 |
| | 特定環境保全公共下水道事業 | | 144,800 |
| | 農業集落排水事業 | | 423.000 |
| | 工業地域開発事業 | | 337,000 |
| 公営企業会計 | 水道事業会計 | 収益的収入 | 715,700 |
| | | 資本的収入 | 105,736 |
| | | 収益的支出 | 698,038 |
| | | 資本的支出 | 428,191 |
| | 病院事業会計 | 収益的収入 | 1,553,421 |
| | | 資本的収入 | 572 |
| | | 収益的支出 | 1,553,421 |
| | | 資本的支出 | 9,427 |

旧体育館の取り壊しにより広くなる校庭

改築がまたれる滋野公民館

嵩上げ予定の田中駅ホーム

### 平成19年度　新規事業からピックアップ　（単位 千円）

| 項目 | 金額 |
|---|---|
| 御牧の家改修工事 | 5,780 |
| 西部保育園改修工事 | 8,200 |
| 不燃物処理施設改修工事・修繕 | 14,865 |
| しなの鉄道田中駅・滋野駅ホーム嵩上げ工事負担金 | 20,000 |
| 湯楽里館等施設改修事業 | 20,000 |
| まちづくり交付金事業（石原県営団地線） | 10,000 |
| 羽毛山団地解体工事 | 10,600 |
| 滋野小学校体育館屋根防水工事 | 8,536 |
| 田中小学校旧体育館取壊し・外構工事 | 110,000 |
| 滋野コミュニティーセンター建設事業 | 176,717 |
| 市民プール改修工事 | 12,000 |
| メール等配信システム委託 | 10,500 |
| 後期高齢者医療制度創設準備事業 | 27,000 |
| 地域活動支援センター事業 | 23,093 |
| 児童福祉医療費（市単） | 7,500 |
| 放課後児童クラブ事業 | 9,453 |
| 農地水環境保全向上対策事業 | 4,665 |
| 洪水ハザードマップ作成委託 | 4,000 |
| 小学校英語助手派遣委託 | 6,000 |

### 平成19年度　縮小・廃止事業（前年度事業完了によるものを含む）　単位千円

| 項目 | 廃止・縮小 | 昨年度比 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 職員研修事業（海外研修） | 廃止 | △835 | 当面の間、中止 |
| 新幹線湧水利用研究事業 | 廃止 | △4,100 | H18年度事業完了 |
| 花嫁対策事業補助金 | 廃止 | △90 | H18年度事業完了 |
| 配食弁当助成事業 | 廃止 | △2,880 | 廃止 |
| 健康老人入湯事業 | 縮小 | △495 | 事業内容の見直し |
| 医療費貸付金 | 廃止 | △3,000 | 廃止 |
| 部落解放同盟東御市協議会補助金 | 縮小 | △289 | 段階的削減を図る |
| 亜鉛欠乏対策事業 | 廃止 | △3,390 | H18年度事業完了 |
| チャイルドシート購入補助金 | 廃止 | △1,600 | 着用が義務化され、一般的なものとなったため |
| ごみ減量化対策研究会補助金 | 廃止 | △258 | H18年度事業完了 |
| 農村女性海外視察研修費補助金 | 廃止 | △500 | 当面の間、中止 |
| 巡回バス運営委託 | 廃止 | △9,188 | 交通体系見直しに伴う廃止 |
| 北御牧地区バス運行委託 | 廃止 | △21,000 | 交通体系見直しに伴う廃止 |
| 分館スポーツ大会委託 | 縮小 | △600 | 市内5地区一律とする |

# 総括質疑

## ～こんな点は、どうなっているか～

### 平成19年　第1回　定例会
### 予算案と条例案など審議を行いました

#### 東御市副市長の定数を定める条例について

**問　どういう理由で助役が副市長という名称になったのか、定数と施行期日はいつか。**

総務部長　地方自治法の一部改正により改められた。定数は1名で4月1日から施行する。

#### 一般会計予算について

**問　不燃物処理施設工事費の事業内容について。**

民生福祉部長　施設が老朽化しており、分別のテーブルの修理と施設の屋根と外壁、電気設備の改修に750万円、土間の嵩上げと排水工事に283万5千円を予定している。

**問　松くい虫防除対策で事業費が、1168万6千円減額されているが。**

産業建設部長　今まではすべての松について補助対象になっていたが、考え方の中で保全松林、残すべきところの松林というものを補助の対象としてやっていくことに転換がされた。合わせて樹種転換ということで松林から他の林にという事業もある。

**問　地域づくり活動補助金について。**

総務部長　ハード事業では1件40万円で5事業、ソフトの関係では7団体を予定している。活性化研究会、リフレッシュ田中、上の山、城山活性化等を見込んでいる。

**問　放課後児童クラブで事業費の人員の配置と児童館との兼ね合いについて。**

民生福祉部長　10月からの開所で半年分で職員2名分を見込んでいる。児童館の子どもさんがどのような形で分かれるかということもあるが、今の3人の内から1名は児童クラブに回せるのではないかと考えている。

**問　児童手当費で第一子、二子五千円、第三子以降一万円で、乳幼児加算ということだが、人数は。**

民生福祉部長　法律改正があったが予算編成の時期に間に合わなかったが対象乳幼児の見込みは800人。

**問　新交通システム運行のオペレーターの増員や車を増やす考えについて。**

産業建設部長　非常に順調に推移をしている状況である。現在、半年の経過の中で状況を見ながら増やした方がいいのかどうかについては、利用者あるいは運営委員会等の意見を聞きながら十分検討していきたい。

**問　市の一般職の職員数と給与について。**

総務部長　19年度は225人体制でいきたい。給与費については前年度対比1億3745万9千円の減になっている。

**問　小規模土木事業で71の区があるがどの程度の事業ができるのか。**

産業建設部長　測量用地等を入れると約5千万円の事業費を見込んでいる。区の申請により毎年ヒヤリングを行い、優先順位、緊急度等を区長と現地を見回り確認をし割り当てている。実績でいくと30数区しか割り当てることができないという状況である。

**問　市報に広告を掲載するということであるが、その内容について。**

総務部長　一番下段に5㎝×17㎝の大きさで2ページを考えている。掲載要領は要綱を設ける。業者の選択は、審査会を経て広告代理店を通して実施したい。

なお、お知らせ版にも状況を見て掲載したい。

第1回定例会の様子



# 予算特別委員会報告

## 健全な財政運営を進めるため、委託・補助事業等の内容を精査し、見直して、適切な対応を

予算特別委員長
吉澤　武議員

本委員会は、3月13日に付託された一般会計予算案について、各常任委員会の予備審査に基づき、3月19日および20日に審査した結果、全会一致により原案を可決すべきものと決定した。

なお、予算執行にあたっては、左の3点を付帯意見として付すこととした。

1. より健全な財政運営を進める上から、増額・削減の区別なく各種事業の成果について評価を十分行い、委託事業、補助事業等の内容をよく精査し、それらを見直す中で適切な対応を進められたい。
2. 保育行政に関しては、市民の多様なニーズに柔軟に対応し、子育て支援の見地から施設・人員体制の一層の充実を図られたい。
3. 合併4年目を迎えるにあたり、市民が属する2つの浄化槽管理協会の運営と、浄化槽に対する個人への補助金についても、一本化に努められたい。

## 平成19年度一般会計の採択にあたって

### 賛成討論

国は800兆円を超す負債をこれ以上増やさないため、国債の発行をおさえ地方交付税を大幅に削減した。その結果、地方自治体は厳しい財政状況の中で19年度予算編成をしている。当市においても人件費１億円の削減や特別職の給与５％カットなど歳出削減に努め、予算総額126億５千７百万円、前年度対比6.8％の減と厳しい予算編成である。そうした現状の中で事業内容を見ると、ファミリーサポートセンター・放課後児童クラブの開設や新たに青少年係・子育て専任指導主事・まちづくり協働係など市民にきめ細かな対策を講ずるとともに、滋野コミュニティーセンター建設のほか、西深井・中屋敷・横堰公民館の増改築補助などインフラ整備も推進し、さらに、少子高齢化の中で子育て支援は大きな課題であるが、医療費の無料化を就学前から小学１年までとし、また、第３子を優遇する施策など市民にきめ細かなサービスにも心配りをされ、時代に即応した予算であると高く評価したい。

### 反対討論

日本では、この５年間で正社員が３００万人減り、格差社会は拡大し、貧困が大きな問題になっている。予算案が、環境・子育て教育・健康づくりに重点をおいていることは一定の評価をするが、貧困と格差を是正するものにはなっていない。次の点に疑問を持ち反対するものである。

(1)人権同和事業は、御代田町のように直ちに廃止すべきと考える。(2)議員の海外研修は直ちに中止すべきである。(3)基本的人権の侵害の危険性のある国民保護計画に関連した予算の執行はやめるべきである。(4)田中駅南口開発に、今年３億４，５００万円投入するわけであるが、拙速にやる必要はないと考えるがいかがなものか。(5)長野県後期高齢者医療広域負担金は、高齢者の意見を十分聞くこと。(6)予算書に委託料の項目が何百とある。今後、総ての項目について研究・検討すべきと考える。

# 常任委員会報告

## 新たに子育て支援に指導主事の設置を決定

本委員会は、3月14・15・16日、平成19年度予算案の所管事項の予備審査と10条例案・1陳情の審査、ならびに現地調査を行った。予算案については予算特別委員会の報告に委ね、ここでは条例案・陳情の審議の概要を記すこととする。(なお、条例案等の議案名は17Pを参照)

**議案21号**—助役を副市長とする新条例。

**議案23号**—市の監査委員の定数2名と定めていた条例を、法改正によって、その必要がなくなったための改正。

**議案24号**—法律の改正に伴っての条例改正。

**議案25号**—市の子育て支援充実・推進のために新たに指導主事を置くことと市三役と教育長の給料月額を来年4月まで5%減とする条例改正。

**議案26号**—特別職の職員の退職手当算定の勤続月数を48か月にする条例改正。

**議案27号**—これは人事院勧告に基づく法改正による市の条例改正。(3人目以降の扶養手当支給月額を六千円とする改正内容。)

**議案28号**—職員の子育て支援を進める内容の条例改正。

**議案29号**—これは介護費用増により介護納付金が増し、それを補充するため国保税の介護分の税率を引き上げる条例改正。

### 総務文教

**議案30号**—「BOOK童夢みまき」の開館時間を通年、午前11時から午後6時までとする条例改正。

**議案31号**—「東御市北御牧プール」を「北御牧中学校プール」として管理・運営する条例改正。

以上、条例改正について第29号議案については賛否が分かれたが、それ以外の条例案は、法改正による所要の条例改正が多く、全委員一致で「可決すべきもの」という審査結果となった。

また、陳情4号(18Pを参照)は、「何もかも民間開放は行政サービスの低下等が心配される。」という意見と、「市の健全な行財政運営上から民間開放の窓口は必要」との意見が出され、多数決で「不採択」となった。

現地調査は、北御牧地区の文化財(観音寺・両羽神社)と中央公園芝生広場の全天候走路の工事の進捗状況、そして、図書館の蔵書実態を調査した。

完成間近の「芝生広場全天候走路」

## 病院の健全化と身体教育医学研究所と連携し、予防医療を進め市民の健康増進を

本委員会は、所管の6課に関係する一般会計予算の予備審査、病院事業会計、4つの特別会計、条例4件および陳情3件の審査を行った。

一般会計予算の予備審査では、ごみ減量化の推進について、各区にごみ減量アドバイザーを養成して、ごみの減量化を進めてはとの意見が出された。

平成19年度から成人病予防の相談窓口が、ケアポートみまき内の健康増進係に移るとの説明があった。

これは、みまき温泉診療所、身体教育医学研究所、温泉プール等の兼ねあいからとの説明を受けた。成人病予防以外の健康相談については、引き続き総合福祉センター内の保健係が中心に行うとのことであるが、住民が困惑しないよう周知徹底を図られたいとの要望が出された。

田中保育園の未満児保育

### 社会福祉

保育園の1地区1園制については、課題が多く残されているとの意見が出され、時間をかけて検討していくとの回答を得た。

病院事業会計では、医師確保に努力しているとのことであるが、市民に信頼される病院にするために、職員が一丸となって経営改善に努めるよう要望した。

地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計予算では、借入金の返済について滞納対策を強化するとともに、分納してでも納めてもらうよう努力すべきとの意見が出された。

議案第36号(17P参照)では、高額療養費分も払えない場合の救済措置はあるかとの質問に、社協の生活資金貸付制度等を利用願いたいとの回答があった。

現地調査は、19年10月竣工予定の東部クリーンセンターの排ガス高度処理、大規模改修整備工事の進捗状況と田中保育園の増加している未満児保育の状況と生ごみ処理機の活用状況について調査した。年長児の保育室がプレハブであり、体調管理の面からも施設の充実を図る必要があるとの意見が出された。

## 市民の足デマンド交通利用者順調に推移しなの鉄道田中・滋野駅ホーム本線嵩上げ

本委員会は、所管の5課と農業委員会の19年度一般会計の予備審査と特別会計4件と水道事業会計、条例2件、市道の認定1件、その他1件と請願1件・陳情1件を審査した。

商工観光関係では、新交通システムについては、利用者も順調に推移しており本年度の運行費補助金6100万円は今後増車分も考慮しての予算であるとの説明があった。審査の中で今後、より市民の足としての利用を高めるためにも狭い道路対応として、小型車の検討もしてほしいとの意見が出た。新規事業では、しなの鉄道田中・滋野駅のホーム嵩上工事を行い、乗りやすい駅のホームに期待するとの意見が出た。

農政関係では、農用地利用計画と農業振興地域整備計画策定について審査を行った中で農業振興地域除外に関する県からの権限委譲があれば検討してほしいと意見が出され、他の市町村の動向をにらみながら、検討していくとの回答があった。

総合支所関係では、芸術公園内のマレットゴルフ場は、とても良い環境にあるので整備をしてはどうかとの意見が出された。

### 産業建設

建設関係の建設物耐震化促進事業については、住宅耐震化の状況について審査を行い、その中で18年度の実績についての報告も出された。

上下水道関係については、合併処理浄化槽整備事業について、市内の対象地域、人数、普及率について審査を行った。

下水道特別会計については、国の地方財政対策の中で、公的資金の繰り上げ償還による公債負担の軽減策が盛り込まれた。具体的な内容が決定しだい公債費削減を図るようにとの意見が出された。

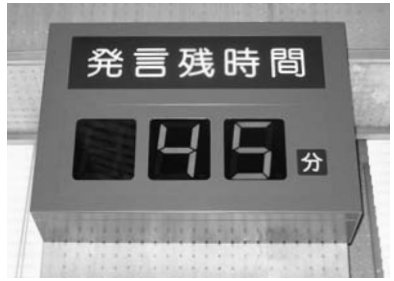
水道事業については、使用料の収納率向上を図って欲しいとの意見が出された。また、国の公債費負担の軽減については、すでに一部対応しているが、今後も国の軽減対策を継続するよう意見が出された。

現地調査は、デマンド交通オペレータ室・田中商店街・駅南口の整備状況・羽毛山工業団地、元気地域づくり交付金事業の布下工区について、行った。

田中駅前交差点ポケットパーク

# 市政を問う

本市議会は、昨年七月に正式に会派制を導入し、五会派が誕生した。
そして本定例会において、初めて会派代表質問を行った。
代表質問は、年に一度三月の定例会において各会派一名が一般質問に先んじて行うことにした。ただし、市長選挙のある年は、代表質問の時期について議会運営委員会で決定する。発言方法は一般質問と同じく※一括質問一括答弁式をとる。なお、質問時間は、答弁を含まず45分以内と定められ、一回目の答弁終了時に暫時休憩（概ね20分）を入れ会派の質問調整を行うことにした。発言順は、会派所属人数の多い順（同数の場合は抽選）で決定する。
さて、東御市議会第一回の代表質問は、三月七日・八日に五会派すべてが行った。続いて八日・九日にわたり八人が一般質問（質問時間は30分以内）を行った。
代表質問と一般質問の要約は次の通りである。



議場に設置された発言残時間表示器

※一括質問一括答弁式とは
一般質問において、複数の項目をまとめて質問し、まとめて答弁を受ける質問方法。他の方法として一つの項目について、質問、答弁、質問、答弁を繰り返す「一問一答式」がある。

清和会
堀　高明　議員

## 問　議会答弁をした事項の実施状況について
## 答　検討するという議会答弁は避けるようにしたい

**問**　一般質問に対し「検討する」との答弁が多い。実行できない答弁は安易にしない、その場しのぎの答弁は議会軽視ではないか。

**市長**　できればいつやる、あるいは不可能であると方向性を示していきたい。検討結果も報告していきたい。

**問**　市庁舎の耐震診断委託料を予算化したが、補正ですべて減額された。実施を見送った理由を聞きたい。

**市長**　簡易自己診断において耐震性能は相当低いと診断された。防災拠点である市庁舎を耐震補強していくのが良いのか、新たに庁舎を建築していくのが良いのか十分検討し、方向を決定した上で再度予算化していくことが望ましいと判断した。

**問**　企業誘致の効果は雇用の創出、若者の定住、税の増収、消費の拡大等があり市の活性化につながる。
土地開発公社保有の土地の利活用と広大な面積を希望する企業がある場合の対応策は。

**市長**　市内外の企業や不動産業者はもとより、県外については県の東京事務所を通じて誘致活動を行っている。

仲良く勉強する児童（田中児童館）

**問**　保育料の第3子軽減を未満児まで拡大できないか、また、働く保護者にとって安心して子どもを預けられる施設は児童館である。土曜日、長期休暇の開館は9時からであるが開館を早めることはできないか。

**市長**　新年度から第3子軽減を3歳未満児まで拡大していきたい。19年度に保護者が就労等で留守家庭となる児童対策のために、田中小の特別教室を改修し放課後児童クラブを立ち上げる。今後各小学校単位に放課後児童クラブを設置する計画であり、この児童クラブとの開館時間との兼ねあわせもあり検討したい。

※　他に次の事項について質問した。
①合併特例債の起債可能額は建設事業分、基金造成額合わせて85億3千万円である。また現在までの使用額や活用する事業計画について。
②市民病院経営、土地開発公社の保有資産62億円（17年度末）は財政を圧迫している。長期的視野でその対応策はどのように考えているか。
③10年後には100名が定年退職となる10年後の財源に占める人件費の割合の見通しはどうか。
④19年度の基準財政需要額は、また臨時財政対策債、合併特例債等、交付税還元される部分の需要額の中に占める割合は、公債費償還のピークは何年後かについて。

さわやかな風の会
荻原　利幸　議員

## 問　管理職の見直しと早期勧奨退職制度の導入での対策は
## 答　課長職の兼務廃止などで機能的な事務組織を目指す

**問**　地球温暖化に向けた対策は。

**市長**　新たに水力や風量の発電などの新エネルギーについて研究していく。19年度からヒマワリや菜の花等を新たに交付対象とし、作付面積の拡大とバイオマス利用の検討、導入のきっかけにしたい。

**問**　水源確保と森林育成は。

**市長**　水の安定供給には森林整備が重要であり、民有林の除間伐等をいっそう推進するために森林整備地域活動支援事業、流域広域保全整備事業を実施しており、19年度から公的森林整備事業を新たな補助事業とする。

**問**　観光振興の対策は。

**市長**　湯の丸高原、海野宿、芸術むら公園等を含めると100万人を超える観光客が訪れており、豊かな自然資源や歴史的遺産、温泉資源に恵まれており、環境整備を進め観光協会に専任職員を配置しPRをする。

**問**　少子化対策の成果と対策は。

**市長**　これまでの成果として出生数17年度は259人、出生率1・36人18年度は285人、出生率1・49人で増加に転じた。19年度新たな事業ではファミリーサポートセンター事業・育児支援家庭訪問事業・放課後児童クラブ事業・保育や子育ての相談の専任の指導主事の配置・小学校1年生まで福祉医療費の給付対象年齢の引き上げ等をしていく。

八重原から見た東御市風景

**問**　高齢化対策は。

**市長**　高齢者に元気で生きがいを持って安心して暮らせる優しい社会づくりを推進する。

**問**　市民病院の健全化の具体策は。

**市長**　常勤医師不足の解消に役職員が全力で取り組んでいる。市立病院で60床と小さな病院の良さを生かした地域医療の考え方を前面に出し、その方針に賛同していただける先生方に新年度の早い時期に着任していただけるよう努力している。

**問**　青少年健全育成条例の制定は。

**市長**　なるべく早期に成立させたい。

**問**　消防団員の確保対策は。

**市長**　消防団組織のない地区からの団員確保と女性の消防団活動への参加などが検討されている。

**問**　給食費の未納問題の対策は。

**教育長**　学校給食費の欠損分の対処方法としては、徴収した給食費の範囲内で給食を実施している。
本年2月末の未納額は2小学校で69万1903円である。学校給食が適切に実施できるよう、学校と協力し保護者の皆様に納入についての協力をお願いする。

新風会
石川　好一　議員

## 問 市の行政改革は進んでいるか
## 答 市のあらゆる行政分野を精査し、着実に進めたい

**問**　市は、時代の変化に迅速・的確に対応できるスリムで、合理的な行政システムの構築に向け、平成18年度を初年度としての五カ年計画の「集中改革プラン」を策定した。

市政全体を網羅して、各部署で計38項目の行財政面についての今後の改革プランの確実な実践化・具現化に期待するところ大なるものがある。

ところで、初年度は、38項目の実践目標には『…について検討する。』という目標が多く立てられている。

そこで、平成18年度に、検討をしてきた過程の中で、これから取り組むべき具体的な課題が明確化してきたのかどうか。さらには、それらの課題解決への改革の道筋がはっきりしてきたのかどうか。

**市長**　集中改革プランは市の行財政の現状と将来を見つめたとき、是非とも推進していかねばならない緊急の課題であると思っている。

取り組むべき38項目は市政全般にわたっており、即実践へ踏み込んでいるものもあり、さらに慎重な検討を要するものもある。いずれにせよ、18年度の経過を踏まえて、プロジェクトチームで検討する項目、複数の部課で検討する項目、また、主管する部課で検討する項目等々の区分けをして、各所管の横の連携を保ちつつ、すべての取り組み項目を一度に改革することは困難な点もあるが、職員の改革意識をさらに高め、引き続き、実効性のある行政改革に鋭意取り組んでいきたい。

**問**　市の行財政を語るときに、官庁用語、専門用語、カタカナの用語が多すぎるように思えてならない。行政と市民との共働の地域づくりの必要さが叫ばれている今日、市民の側に立って、みんなにわかり易く市の行財政事情を知らせる方法、手だては考えられないものか。

**市長**　現在のところ、おおむね、健全な財政運営がなされていると考えている。今後、さらに市のホームページや広報等で、わかり易く財政事業等を公表し、市民の理解を得ながら財政運営等を進めていきたい。

※その他、次の点について質問した。

①小学校における英語学習について。

②市の保育園等の今後の見通しについて。

③虐待防止総合対策推進協議会の今後の実効性ある運用について。

④市民の安心・安全のよりいっそうの確保のための消防団員増の対応について。

持続的、自立的な行政運営の構築に向けて

公明党
依田　政雄　議員

## 問 行政情報を配信するメール配信システムの内容について
## 答 緊急情報や防災・防犯情報を配信し、乳幼児検診や行政情報を追加していく

**問**　市長施政方針の本年度事業である希望者に緊急情報や乳幼児検診などの行政情報を配信するメール配信システムの内容について伺いたい。

**市長**　防災・防犯情報や行政情報を携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、希望者に一斉配信する事業であり、一度に5千件から1万件の配信により迅速な情報提供が可能である。

### 学校等公共施設の耐震化の取り組みについて

**問**　学校等公共施設は地震等の非常災害時に児童生徒の生命を守るとともに地域住民の緊急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保が不可欠である。東御市の小中学校等の耐震化の状況と推進について伺いたい。

**教育長**　耐震改修が必要なのは田中小学校の普通教室棟・祢津小学校の特別教室の一部であり、田中小学校は新年度に改修の設計を行い、20年度以降の工事、祢津小学校は20年度以降に設計を行い改修をする予定である。

### 少子化対策と子育て支援における妊婦無料健診の拡大について

**問**　国の予算における妊産婦無料健診の費用の助成が大幅に拡充されるが東御市の妊婦無料健診の状況と公費負担の回数の拡大への取り組みを伺いたい。

**市長**　妊婦健診は非常に重要なことと考えている。今後、市の財政状況と照らし合わせながら無料健診の回数拡大については十分考えてみたい。

### 財政健全化における公的資金の繰り上げ償還について

**問**　19年度の国の公債費負担の軽減策を使い、公的資金の繰り上げ償還を行い財政の健全化に努めるべきと思うが、その取り組みについて伺う。

**市長**　具体的内容が決定次第、財政健全化計画等を作成し、積極的に繰り上げ償還を行っていきたい。

※この外、安心して子育てが出来る居住支援について、特別支援教育の推進と支援員の拡充について、学校図書館図書整備費の予算確保について、住民の健康増進の取り組みについて、住民の健康増進の取り組みについてや、コミュニティFM放送の研究についての質問を行い、それぞれの回答を得た。

蔵書があふれる図書館

日本共産党
山﨑美喜子　議員

## 問 貧困と格差の実態認識と予算は
## 答 景気回復が家計向上には結びついていない

**問**　貧困と格差が広がり、年収300万円以下の家庭、国保税の滞納、母子家庭、就学援助が増えているが、実態をどう認識されておられるか。

**市長**　景気回復が市民の家計の向上に結びついていないと認識している。

**総務部長**　課税対象所得300万円以下の方が87・4％である。国保税の滞納は、平成17年度末で全体で238人である。

**民生福祉部長**　母子家庭は9か月で32世帯増。就業支援をしている。

**教育次長**　就学援助は、252人で母子家庭や収入減が要因である。

**問**　国の予算のあり方は、大増税と社会保障切り捨てである。定率減税の廃止での負担増と、国保介護分の負担増はどれ位か。

負担増税分を市民の暮し応援に、介護分の負担増は、一般会計から繰り入れて値上げを押えるべきである。

**市長**　定率減税廃止で1万3千人が影響を受け、負担増は5600万円、介護分は、一世帯当たり1万9400円から3万1200円となる。

**総務部長**　減税廃止分は安心・安全のまちづくりに充てる。介護分を一般会計から繰り入れるのは、いかがなものか。

### 人権尊重のまちづくりを

**問**　同和行政は終結すべきである。解放同盟への補助金は、どれ位か。

男女共同参画条例の制定は、今までの取り組みを評価し生かすべきである。

みまき温泉診療所

**市長**　同和問題は、人権問題と考え、引き続き推進する。お金はささやかなものである。

男女共同参画は、市民に浸透するよう市民の声をしっかり聞きたい。

民生福祉部長　解放同盟への加入は63戸、補助金は16年度642万円で前年の実績に5％減額でやっている。

### 健康づくりの柱に市民病院を

**問**　保健・福祉・医療を一体ととらえ、健康で安心して住める地域づくりの柱に、市民病院を位置づけるべきである。市民との意見交換で、住民と歩む病院づくりをすべきである。各部署の役割をしっかりすることが、健康づくりのかぎである。

**市長**　高度先端医療から地域医療へ転換をしている。住民とともに歩む病院づくりは基本である。市民病院が中心になるというのは難しい。

小山　義明　議員

## 問　市としての温暖化防止策は
## 答　県・国・世界で努力しなければ

**問**　地球温暖化防止のための市対策について。

**民生福祉部長**　市役所としては(02)削減のためにも努力している。また、市内の企業14社にも協力してもらっている。県・国・世界で努力しなければならない問題である。

**問**　田沢の産業廃棄物中間処理場の現状はどうなっているか。

**民生福祉部長**　市でも調査したり、地元の田沢の役員の皆さんとも業者へ申し入れも行った。今のところ、公害はないと思う。今後注視していきたい。

**問**　湯の丸50番採石場の現状と今後の方針について。

**産業建設部長**　県の仕事であり、市は採石は重要な建設材料であるので同意している。今後は、関係する皆さんの意見を聞き検討していく。採石終了後の山の緑化については十分考えていきたい。

### 学校図書館の状況は

**問**　学校図書館の状況と内容について。

**教育長**　学校図書館司書の下に、それぞれの学校に一名の事務職員を配置し対応している。

**問**　小中学校生徒への就学援助は。

**教育長**　学用品、給食費、修学旅行費などを援助している。受給者は年々増えている。平成18年は、小・中合わせて252人で1408万円になっている。

**問**　全国一斉学力テストに参加しないこと。

**教育長**　4月に実施する学力調査には参加する。結果は公表しない。

※他に、団塊の世代の受け入れについて市はどう考えているか。鳥インフルエンザの人間への感染を想定した対策についてなど質問した。

田中小学校図書館の様子

練習に励む東中バスケット部

小林　宗雄　議員

## 問　選択通学制の導入は、考えられないか
## 答　現状では、東御市での選択通学制はむずかしい

通学区制は考えられないか。

**教育長**　現在の東御市では、学校ごとに通学区域を定め、住所によって通学する学校を指定している。市内どこからも通える学校選択による通学を、もし導入すると、一校に集中する可能性もでてくる心配もある。現段階では選択通学制はむずかしいと思うが、保護者に対しての意向調査を含めて、大事な内容であるので教育委員会で議題にして研究して参りたいと思う。

### 市の健康づくり計画について

**問**　市の二〇〇七年度の最重点施策として「健康づくり」を挙げているが、近年、生活スタイルの変化や多様化による肥満、高血圧、糖尿病等々の生活習慣病が増加しており、大きな問題になっている。

その中で身体教育医学研究所と連携した事業で健康づくりの具体的な取り組みは。

**民生福祉部長**　最重点施策としての健康づくりについては、国民病をこれ以上増やさないため、メタボリックシンドロームの段階で生活習慣病を見直しする事業として、昨年から引き続き取り組んでいる。

身体教育医学研究所は、市の健康施策を推進する上でなくてはならない存在になっている。具体的には市民病院と連携をした組織体制を確立し、市民の健康づくりを推進していきたい。

※他に改正介護保険法についても質問をした。

清水　新一　議員

## 問　農地・水・環境保全向上対策について
## 答　活動組織の設立に向け支援をしたい

**問**　この対策は、農業者をはじめ農家以外の住民、地域内の関係団体等が連携して、農地や用水路、農道等の地域の農業生産基盤や農村の自然環境を守り育てる共同活動を行うものですが、この支援について。

**産業建設部長**　現在19集落が取り組みを開始する準備を進めている。課題としては、地元の事務的な負担が大きいこと、農家以外の住民の積極的な参画が求められることが上げられますので活動組織の設立に向け、市としても支援をしていきたい。

### 担い手の育成と農地の流動化、集積について

**問**　農家の担い手の中でも認定農業者は意欲があり活動できる人です。そこで地域が担い手を育てる支援ができるかです。それには、農地の集積化ができることが課題ですが具体的な取り組みがなされているか。

**産業建設部長**　担い手の経営安定、担い手候補者の育成と規模拡大等経営力の向上、新規農業者等将来の担い手の確保の3つを一体的に推進することが必要であると考えている。そのため農業農村支援センターも含めた農政部内の再編を進めたい。

さらに農地の流動化と担い手への利用集積を促進し、担い手の経営安定化を図るためにどこの農地をどれだけだれに任せるかといった話し合いが必要であると考えている。

**問**　グリーンツーリズムをどのように進めるのか、大田区との交流もあるが都会に向けてどのような方法で活動をしていくのか。

**産業建設部長**　農業体験、職農教育の取り組みとしての交流、農業後継者対策、体験ツアーの実施などを事業として考えている。

多くの区民に利用される
大田区体養村とうぶ

吉澤　武　議員

## 問　市の財政の見通しは
## 答　借金の合計が470億円あり厳しい

**問**　夕張市では小学校・中学校がともに1校に統合され、病院の縮小、保健、福祉、消防、救急といった住民の生命にかかわる行政サービスの大幅な切り詰めが明らかになっている。

「東御市は大丈夫か」といった声が寄せられているが財政の見通しは。

退職者がこの10年間に110人位で、退職手当基金が約8億7千万円あるがこれで払えるのか。

市民病院や、市が補助金を出した長野救命医療専門学校についても、お聞かせいただきたい。16年の私の一般質問への答弁で、学校誘致のメリットとして、学生の半分が住むと見込んで約84人が住み、周辺に1億2千万円の経済効果があるとされていたが、1年経過してみて、どうか。

**総務部長**　18年度の市の借り入れ元金見込み残高は、一般会計と特別会計を合わせて約341億円で、企業会計の72億円や、土地開発公社の債務保証を加えると470億円となる。今後、この起債の返済や債務保証というものは、大きな負担になってくる。

今のところ、市の財政は元気ではあるが、土地開発公社など悪性のポリープができている。体力があるうちに手術をしなければいけないが、その手術に62億円は必要という状況である。

退職手当金については、給料の15％を積み立てて一応確保しているが、足りない分もあり、それは一般財源で対応していくことになる。

市民病院については、経営の改善対策委員会を立ち上げ検討しているが、当面の運転資金として3億円の貸付をお願いしたい。

長野救命医療専門学校は、定員70名のところ1期生は35名、2月末で33名となっており、定住者は、1期生で1名である。開校してまだ1年で、長い目で見ていただきたい。

開校2年目を迎えた
長野救命医療専門学校

石和　大　議員

## 問　健康づくりの具体的な施策は
## 答　研究所との連携、相談窓口の開設等がある

楽しく団らんするお年寄の皆さん

問　介護予防の取り組みはどんなものか。

民生福祉部長　全区に出向いて総ての高齢者対象にスクリーニングを実施。要介護リスクのある人には介護予防サービス、元気な方には予防教育開催等である。

問　保健予防の取り組みは。

民生福祉部長　身体教育医学研究所と連携して、子どもから高齢者まで年齢に応じた健康づくり教室等へ指導者を派遣する。

問　コミュニティFM放送の活用とは。

総務部長　各家庭に緊急告知FMラジオを配置し、緊急時に自動的にスイッチが入り、緊急放送が流れるシステムの導入を研究する。

問　緊急時メール配信システムは。

総務部長　携帯電話やパソコンのアドレスを登録してもらい、緊急情報を配信する。

問　ADSL使用不可能地域の一部に補助事業を実施することで不公平は生じないか。

総務部長　ADSL、CATV両方が使用不能地域に対して補助する。その他地域は、業者に対して改善を促す。

問　家庭力、地域力を充実させる施策は。

教育次長　青少年健全育成計画を策定し、総ての家庭、地域、学校、事業者、行政が連携して取り組む体制を目指す。

問　子どもが変われば親が変わるという視点で、公教育や地域で美しい言葉を子どもに教えることを考えるべきでは。

教育次長　家庭にはなかなか介入しにくいところがあるので、今後努力したい。

問　教育委員会の「スイッチを切ろう」について、「東御の日」の前後に市長が呼び掛けるというのはどうか。

教育次長　家庭教育にかかわる委員会等を設置して具体的なことを進めたい。

山岸　淳子　議員

## 問　ゆとり教育の見直しについて
## 答　全く否定されるものではない

問　教育再生会議は、基礎学力の低下を問題にし、「ゆとり教育の見直し」を提言している。市の児童・生徒の実態から今まで取り組んできた「ゆとり教育」をどう総括されるか。

教育長　ゆとり教育は週五日制、総合的な学習の導入、授業時数の削減、家庭・地域での体験活動等が挙げられる。見直しは必要だが、大切な内容であり、総て否定されるものではない。当市は学社融合に力を入れ、成果が上がっている。しかし、教科の時間数が減少したことは、再検討が必要かもしれない。また、総合的学習で子ども達が自らの課題を意欲的に最後までやり通そうとしているか学校では十分研究する必要がある。

問　今、教育のあり方が問われ、新たな方向が打ち出されてきている。市民大学講座や教育懇談会を開催し、教育のあり方を考え合う必要があると思うがいかがか。

教育長　大事なことを教育委員会でも話題にし、多くの皆さんに関心をもっていただくよう働きかけていきたい。

### 市歌の制作について

問　さらなる一体感の醸成のためにも誰もが喜んで歌える東御市の歌の制作の考えは。

総務部長　素晴らしい提言をいただいたが、市民が主役のまちづくりを考えると、行政が率先して制作するものではなく、市民の機運が高まる中で生まれることが大切と思う。是非、市民の力を盛り上げ、素晴らしい歌ができるようお力添えをお願いしたい。

※この他、市の子育て・教育に関わる新たな取り組み三点についても質問した。

種芋をまく田中小児童達

三縄　雅枝　議員

## 問　デマンド交通のより一層の利便性と公平性の確保を
## 答　年4回程度開かれる運行委員会で検討を

利用者に好評のとうみレッツ号

問　デマンド交通を利用する多くの皆さんは「大変便利で助かっている。」と喜んでいるが、地域によっては「利便性に欠ける」「公平性に欠けるのでは」等の声が聞かれる。より利便性を向上させるためにも、エリアはともかく、共通ポイントの拡大を検討できないか。

産業建設部長　タクシーとは違い、それぞれ一時間でのデマンドバスの往復という時間的な制限もあるので運行委員会等で検討していただければと考える。

### まちづくり協働係の設置について

問　新設されるまちづくり協働係の果たす役割は何か。また、多くの住民が出入りをすると考えるが設置窓口はどこか。

総務部長　団塊の世代の退職時期を迎えるにあたって、皆さんが永年培ったノウハウを行政にも生かしていただくための受け皿作りを積極的に進め、今後、図書館・中央公園・文化会館等の施設の管理・運営をお願いするなど効率的な行政運営を進めるとともに、働く場所の確保、生きがいや活力のあるまちづくりを進めたい。協働係の設置場所は2階総務部企画課に設置をする。

※窓口については、住民の出入のしやすい入口附近に設置するよう要望をした。

※男女共同参画の推進に関する条例制定について、条例を制定するにあたっては、東御市らしいもの、住民に身近で理解し易いものであること、住民によく周知をすることを要望した。

鶴田　武夫　議員

## 問　急増しているアパート経営について
## 答　飽和状態の時期に来ているので、大きな警鐘を鳴らしたい

問　昨今、東御市ではアパートの経営が急増している。あまりにも過剰すぎて経営内容、緊急時の道路確保、消火栓の数、集中豪雨等の排水対策等が大変心配である。どのような指導をしているのか。

産業建設部長　東御市内のアパート建設状況は、過去5年間の市へ提出された建築確認申請を見ると、平成14年度で9件、15年度13件、16年度14件、17年度で24件18年度は3月1日までに13件という内容である。人口が増加することについては、経済効果、活性化につながり、よいことだとは思われるが、経営内容については、市側としては個人の経営内容については介入や指導等はとくにできない。緊急時の道路確保、消火栓の設置については、共同住宅を建設する場合には、市環境をよくする条例で各課の指導・意見を盛り込んで経営者と協議している。道路確保については、4m未満の道路の場合、道路中心線から2m以上後退した部分については、道路と同じ高さにして、道路幅員を確保する。集中豪雨時の排水対策については、道路側溝等排水が無い場合、雨水の地下浸透試験等を実施し、基準に合った雨水浸透升設置を指導している。

市長　アパート経営について、私は、大きな警鐘を鳴らしたい。今、考えていらっしゃる方は、もう一度落ち着いて冷静に考え、もうアパートは完全に飽和状態だと私は認識している。

まちづくり懇談会等でもぜひともそんなことを皆さんに周知していきたいと考えている。

急増しているアパート

# 全員協議会だより

３月１日、９日、23日に全員協議会が開かれ、それぞれ各担当課より説明を受け、質疑を行った。
その主な項目は、下記のとおり。

**●東御市地域福祉計画について**

平成12年に社会福祉法が改正され「地域福祉の推進」が法の基本理念として位置づけられた。この具現化のために「市町村地域福祉計画」が各自治体の責務として定められた。この計画は平成19年度～平成23年度の５カ年計画である。

機構改革が行われた北御牧総合支所

**●東御市障害福祉計画について**

障害者自立支援法第88条第１項に基づく市町村障害福祉計画として策定するものである。

**●長野県後期高齢者医療広域連合設立準備について**

平成20年４月１日から、75歳以上の高齢者に係る医療については、従来の医療保険制度から独立し、運営主体を都道府県単位とし、総べての市町村が加入して運営する制度である。

**●行政組織の改編について**

東御市行政改革大綱、東御市行政改革実施計画（集中改革プラン）、東御市定員適正化計画に基づく行政改革計画。

**●東御市国民保護計画について**

「国民保護法」に基づき武力攻撃事態、大規模テロ等から国民の生命、身体、財産を保護するため国民の避難、救護、武力攻撃災害を最少化する等の措置を的確かつ迅速に実施することを目的とする。

この計画により、市の責務を明らかにするとともに、国民保護措置に関する基本方針を踏まえ、関係機関と連携協力して総合的に推進する。

**●平成18年度集中改革プラン取り組み状況について**

多岐にわたる集中改革プラン38項目をいかに計画的に進めていくかが大事であり、職員の改革意識をさらに高めることが必要。

また、検討中の取り組み項目、平成19年度に実施、予定されている取り組み項目については、進行管理を確実に行い推進する。

**●政策方針管理制度（行政評価）について**

毎年度、市長が定める政策方針に基づいて実施する重点事業を対象として、毎年度当初に方針を作成し、その方針に添って事業を実施し、執行状況を９月と３月に検証し、次年度事業の立案や実施に反映させる。

**●東御市議会運営委員会と広報調査特別委員会行政視察報告**

**△議会運営委員会**

２月５日岐阜県可児市議会の議会活性化委員会を視察

**△広報特別委員会**

２月６日、愛知県日進市議会の広報特別委員会を視察

**●平成19年度東御市土地開発公社予算について**

**●議会事務局分の平成19年度当初予算および平成18年度補正予算について**

**●東御市滋野財産区管理会委員の選任議案の取り扱いについて**

**●一部事務組合等の規約の変更議案の取り扱いについて**

**●東御市議会委員会条例の一部を改正する条例、東御市議会会議規則の一部を改正する規則について**

**●佐久水道企業団議会議員の選挙について**

**●予算特別委員会の設置について**

**●会派視察報告**

完成が待たれる寺坂団地



# 今議会で可決した条例

## 条例（新設２、一部改正13、廃止１）および一部事務組合等の規約の変更議案等の一覧です

**◆議案第21号** 東御市副市長の定数を定める条例

**◆議案第22号** 東御市森林整備事業分担金徴収条例

**◆議案第23号** 東御市監査委員に関する条例等の一部を改正する条例

**◆議案第24号** 東御市実費弁償条例の一部を改正する条例

**◆議案第25号** 東御市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例

**◆議案第26号** 東御市特別職の職員等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

開館時間が変更されたBOOK童夢みまき

**◆議案第27号** 東御市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

**◆議案第28号** 東御市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例

**◆議案第29号** 東御市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

**◆議案第30号** 東御市読書施設条例の一部を改正する条例

**◆議案第31号** 東御市体育施設条例の一部を改正する条例

**◆議案第32号** 東御市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例

**◆議案第33号** 東御市高齢者センター条例の一部を改正する条例

高齢者センター内の入浴施設

**◆議案第34号** 東御市国民健康保険条例等の一部を改正する条例

**◆議案第35号** 東御市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

**◆議案第36号** 東御市医療費融資条例を廃止する条例

**◆議案第37号** 指定管理者の指定について

**◆議案第38号** 市道路線の認定について

**◆議案第39号** 長野県市町村自治振興組合規約の変更について

**◆議案第40号** 上田地域広域連合規約の変更について

**◆議案第41号** 川西保健衛生施設組合規約の変更について

**◆議案第42号** 東信地区交通災害共済組合規約の変更について

**◆議案第43号** 北佐久郡老人福祉組合規約の変更について

**◆議案第44号** 佐久市望月外１市水道企業団規約の変更について

**◆議案第45号** 小諸市外二市御牧ヶ原水道組合規約の変更について

**◆議案第46号** 上田市東御市真田共有財産組合規約の変更について

## 法律と条例

法律は国会で制定される規範であり、条例は都道府県ならびに市町村が、それぞれの地方の自主・自治推進の必要に基づいて制定するものである。

条例によっては国の法律と関係の深いものがあり、この３月議会でも地方自治法の改正に連動しての条例改正という案件が多く審査された。

# 請願・陳情

（請願第１号）
◆「公共工事における賃金等確保法」（仮称）の制定など公共工事における建設労働者の適切な労働条件の確保に関する意見書提出を求める件
▽請願者　上小建設労働組合
▽紹介者　長越修一議員
▽審議結果――採択

（陳情第１号）
◆「がん対策推進条例」（仮称）の早期制定を求める意見書の採択を求める陳情書
▽陳情者　人にやさしい地域づくりの会
▽審議結果――採択

（陳情第２号）
◆「がん対策推進基本計画」の早期決定を求める意見書の採択を求める陳情書
▽陳情者　人にやさしい地域づくりの会
▽審議結果――採択

（陳情第３号）
◆公開制度見直しなど戸籍法の早期改正を求める意見書の採択を求める陳情書
▽陳情者　人にやさしい地域づくりの会
▽審議結果――採択

（陳情第４号）
◆「公共サービスの安易な民間開放に反対し、国民生活の「安心・安全」の確立を求める意見書」提出に関する陳情
▽陳情者　長野県国家公務員労働組合共闘会議
▽審議結果――不採択

（陳情第５号）
◆日豪ＥＰＡ／ＦＴＡ交渉に対する陳情書
▽陳情者　上小地区労農会議
▽審議結果――採択

本会議において採択された請願・陳情について、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に意見書を提出した。

- 公共工事における建設労働者の適切な労働条件の確保に関する意見書
- 「がん対策推進条例」（仮称）の早期制定を求める意見書
- 「がん対策推進基本計画」の早期決定を求める意見書
- 公開制度見直しなど戸籍法の早期改正を求める意見書
- 日豪ＥＰＡ／ＦＴＡ交渉に対する意見書

# 人事案件

議会は、平成19年第１回定例会において、東御市滋野財産区管理会委員、教育委員会委員、公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の人事案件について原案どおり同意した。

▽東御市滋野財産区管理会委員
田口　義信（赤岩）
土屋　時正（片羽）
荻原　利幸（桜井）
関　豊春（大石）
小川原　茂人（別府）
大村　今朝春（原口）
小野澤　政廣（聖）

▽教育委員会委員
町田　勝（乙女平）

▽公平委員会委員
宮原　則子（曽根）

▽固定資産評価審査委員会委員
山越　元（西宮）
土屋　一（桜井）
荻原　絹子（布下）

**市議会だよりはインターネットでもご覧いただけます。**

東御市のホームページ
(http://www.city.tomi.nagano.jp/)

にアクセスしていただき「東御市議会」のページを開いていただくと、平成16年5月発行の創刊号から本号まですべての議会だよりがご覧いただけます。



# 議会のうごき

**2月**
1日　全国市議会議長会評議員会
2日　議員研修会（三位一体改革と地方財政のゆくえ等）
4日　みまき福祉会評議員会・理事会
5日　川西保健衛生施設組合定例会
5日～6日　議運・広報委員会行政視察（岐阜県可児市・愛知県日進市）
7日　会派代表者会
北佐久郡老人福祉施設組合（全協・議運）
ボイス81上小地域会議
8日　山梨県都留市議会視察来庁
市民病院研究委員会
9日　上田広域連合議会代表者会
男女共同参画のつどい
10日～11日　共産党行政視察
13日　議会改革特別委員会
社協理事会
成人識別たばこ自動販売機説明会
14日　全国高速自動車道市議会協議会総会
14日～15日　さわやかな風の会行政視察
15日　広域行政圏市議会協議会総会
16日　身体教育医学研究所運営委員会
18日　東御市味のセミナー
18日～19日　清和会行政視察
20日　しなの鉄道沿線議長連絡会
佐久市望月他1市水道企業団定例会
21日　土地開発公社役員会
上田地域広域連合議会定例会
22日　議会運営委員会
23日　上田地域広域連合議会定例会
24日　上田バイパス第2期工区起工式
27日　平成19年第1回定例会開会
議会運営委員会
28日　産建委員会・農業委員会意見交換会
北佐久郡老人福祉施設組合定例会

**3月**
1日　全員協議会
3日　東部高等学校卒業証書授与式
小諸看護専門学校卒業式
4日　湯の丸スキー大会
生涯学習まちづくり市民のつどい
5日　田中小学校体育館竣工式
7日～9日　平成19年第1回定例会代表・一般質問
10日　知的障害者育成会総会
13日　平成19年第1回定例会総括質疑・委員会付託
議会運営委員会
14日～16日
平成19年第1回定例会常任委員会
16日　中学校卒業式
18日　舞踊発表会
19日　平成19年第1回定例会常任委員会
19日～20日
平成19年第1回定例会予算特別委員会
20日　小学校卒業式
22日　平成19年第1回定例会正副委員長会議
農業者年金協議会定期総会
23日　平成19年第1回定例会閉会
全員協議会
保育園卒園式
24日　上小森林組合総代会
ゴルフ協会総会
25日　マレットゴルフ協会総会
26日　第1回議会だより編集委員会
社協理事会
27日　みまき福祉会評議員会・理事会
上田市東御市真田共有財産組合定例会
社協評議員会
東北信9市議会正副議長会
小諸市外二市御牧ヶ原水道組合定例会
28日　信州東御市振興公社評議員会

**4月**
3日　保育園入園式
4日　中学校入学式
上田広域連合正副連合長・議会代表者会
川西保健衛生施設組合例月監査
4日～6日
北信越市議会議長会評議員会・定期総会
5日　小学校入学式
第2回議会だより編集会議
7日　聴覚障害者協会総会
10日　身体障害者福祉協会総会
11日　議会改革特別委員会
14日　部落解放同盟東御市協議会定期大会
16日　上田地域広域連合議会全員協議会
第3回議会だより編集会議
17日　まちづくり懇談会(滋野)
19日　文化協会総会
20日　議員研修会（市財政計画について）
まちづくり懇談会(祢津)
22日　東京北御牧会総会
23日　第4回議会だより編集会議
まちづくり懇談会(和)
25日　まちづくり懇談会(北御牧)
27日　まちづくり懇談会(田中)

私の一言

# 議会を傍聴して感じたこと

小泉　芳子さん
（田沢）

厳粛な議場へ入場するには、襟を正して緊張した面持ちになります。

入口で氏名を記し、一般質問の通告一覧表をいただきます。深呼吸をして扉を開けると、理事者の顔が飛び込んで来ます。向かい合う議員さんの後姿が並び、張りつめた議場の空気を感じます。一覧表には受け付けられた項目が一番から通告数まで印るされております。質問の要旨は実に多岐にわたり、どの項目もさすが等閑視することのできない質問の数々に感銘を深くいたしました。要約しますと合併して三年が経過する中から、市民病院に寄せるもの、いじめの問題と真に迫るもの、次の時代に向けての広き展望に立って、環境浄化、少子高齢化、地震対策等々枚挙にいとまがない程の質問内容です。

議員さんの語り口は概念的な質問でなく身内の例を挙げての体験の中から話されるそんな時は説得力があり心に迫るものがあります。中でもいじめ問題は複数の方からただされ、命にまつわる深刻さが伺えました。

また一方、ユーモラスのある語り口に思わず緊張がほぐれた場面もあったりと、議員さんは下準備もよろしく納得の行くまで質疑の応酬を展開されるさまは手慣れたもので、真剣さとベテラン振りが伺われ頼もしく感じテレビからはなかなか伝わりづらい部分も傍聴から得られ、意義を深くしました。

理事者と議会が一体になって緊縮財政でいかに健全な市づくりを構築するか真剣な取り組みの様子が手に取るように伝わって参りました。

急激に変化する今日、社会・経済の発展により、住民の要望も多岐にわたるでしょうが、地域議員でなく、市全体の議員であることをご理解の上少数意見、声なき声にも耳を傾けられご活躍を念じております。

私たち選挙民も、選挙で選んだ以上、無関心でなく、議員各位のご活躍の状況を、議場に足を運び、自分の目と耳で受け止める姿勢の大切さを強く感じました。

議会だよりは、私たちが作っています。

市民の皆さんに分かりやすく、また、議会の説明責任を果たせるように努めています。皆さんの意見や要望をお寄せ下さい。

## 広報委員

小林　宗雄
依田　俊良
長越　修一
山岸　淳子
清水　新一
高藤　征紀
石川　好一
町田　千秋
柳澤　旨賢

［東御市議会広報紙］VOL.13　◆発行日／平成19年5月1日　◆発行／東御市議会　◆編集／東御市議会広報調査特別委員会
住所／〒389−0592　長野県東御市県281−2　電話／0268−64−5810　FAX／0268−63−5431　印刷／中沢印刷株式会社